

夕刊 常警新 五日十月十五日廿五日廿日 定價 部 五 十 銭 一 月 二 十 銭 三 月 五 十 銭 六 月 一 百 銭 一 年 二 百 銭 廣告料 別 冊 寄 附 郵 局 掛 號 認 可 第 三 三 七 號 郵 政 省 特 許 第 一 〇 九 〇 號 發 行 所 常 警 新 社 社 長 伊 藤 隆 次 副 社 長 伊 藤 隆 次 發 行 所 常 警 新 社 社 長 伊 藤 隆 次

新舊町長を悦び送迎して

新町長小野晋平氏を迎へて

小名濱町長改選に當りて既に定評あり彼の卓越せし月十七日町會を召集し萬端の識見と偉大なる人格の所一致小野晋平氏を推薦し町有者たる事は茲に記述を要さず...

前町長鈴木榮氏を送るに當つて

人生五十年を小名濱町役等重なる時局に會し好鐵道進運、鮫川疏水水場の人として町政を鞭撻さく其措置を誤らざれば何れも其...

小名濱小學校大増築を目前に控へ二校制の聲

小名濱小學校は大小名濱にて雜務と外出の校長と建設と共に同歩調を以て見し充分の監督統一には要増築案、五十學級迄一校主...

小名濱消防組頭問題

小名濱消防組頭問題小名濱の最終の美は稀薄に就て紛糾中なりしが小名とはなつたが彼の過期入組頭は愈々辭意を洩し近年消防組の爲め盡瘁され...

中作漁港問題

圓滿に位置決定し一月三十日起工式舉行中の作縣管漁港修築問題は紛糾中の處橋農林技師の調査に基き大漁港修築案に模様換を爲し中の作折戸雨部民の歡喜と早替りし於一月三十日には同海岸に於て盛大なる起工式を舉行することになつた

常警春秋

平町長青沼隆太郎論(1) 舊藩士の模範青沼氏論を發言を求め、町長選舉は町長選舉に關し、一應辭職と...

時事漫筆

舊正月元旦には小名濱小學校講堂に於て午後一時より新舊町長の歓迎迎會がある。會費三十錢。新舊町長の瑞玉の如き人柄と新町長の初松魚の濃練たる元氣一杯の徳望家の歓迎迎會だから定めし參會者も多數の事ならん、殊に元旦の事でもあり御馳走も諺山ある筈だから

◆ 今年の舊春は昨年より景氣が好かつたと云ふのが一致した言葉。而すればインフレ政策の潤があつた譯

◆ 植田町長の改選も本年四月月頭の由現勢力は政十民八の分野だから御鉢は完全に古川氏に廻る模様

◆ 江名の冷凍庫も完成した、遠藤俊一師氏の努力と捲ざる奮闘の結果として將來共に其意氣で

◆ 小名濱工業保健組合の役員改選一月十日組合を開き左の如き決定組長、赤津辰吉副、木幡直、會計、鈴木三之助、協議員、相澤寅松、柳澤今朝市、大澤の諸氏

◆ アクリル網の漁は一般の懐を潤し濱一帯はホクホクものである、濱の景氣はインフレ政策より大漁政策にある。

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント代理店
金物 釜屋商店
問屋
磐城平町五丁目
電話九番九十九番
東京振替貯金口座一〇六五九



清世界 醸造元
清水正宗
清水屋本店
小名濱町中通り 電話六番

外科専門
レントゲン科
上田科外醫院
病室の設備入院應請

磐城水産工業株式會社
社長 小野晋平
支配人 福尾伊太郎
小名濱町 電話六六番

中村醫院
内科・外科
花柳病科・小兒科
レントゲン科開設
病室の設備あり
小名濱町 電話十八番

小名濱ホテル
御料理 御旅館 藝妓置屋
海岸に面し風光明媚
今の出しもの自慢の(あんこ鍋)はま鍋
電話十四番

移轉廣告
元吉田屋本館跡
佐瀬醫院
内科・小兒科
花柳病科 (入院應求)
電話十三番

皆様の店!
良へ品を安く賣る
タマキ洋品店
歳末三重サーピス大賣出し
電話開設百四十四番

宮津醫院
内科外科耳鼻咽喉科
小名濱町西町 電話百四十二番

新松屋 菓子舖
折詰引物は 特別に御相談下さい
小名濱駅前 電話七十五番

平川醫院
内科 外科
小兒科 花柳病科
江名町 電話二六番

藥品・高名賣藥
化粧品・小問物類
寶屋商店
小名濱町米野 電話三九番

西丸猛
土木勝負
小名濱町 電話開設一四六番

流井三 服店
は行流
りよ
八三話電・三平

鈴木精米所へ
小名濱 水工トナリ
◆普通米も販賣致します
御用命を